

「大きな被害を想定」

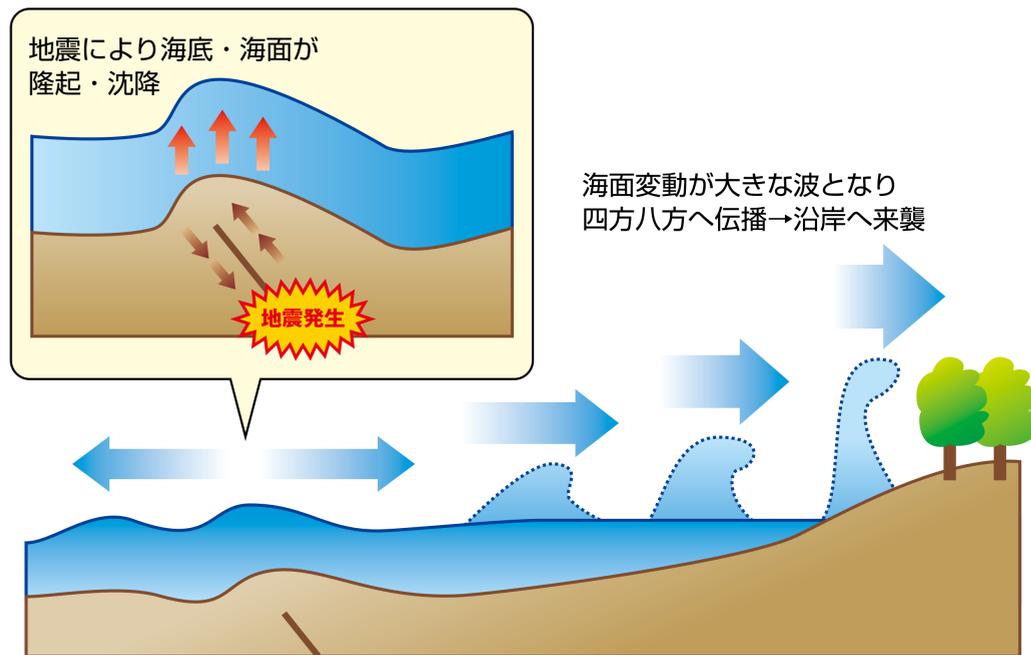
50cmの高さでも 津波には命の危険がひそむ。

南海トラフ
巨大地震に備えて

津波は、海底から海面まで全てが移動する大変スピードのある、エネルギーの大きな波です。津波の高さが高くなるにつれ、海水の横方向（津波の進行方向）の動きも大きくなってきます。海水の横方向の動きが大きくなってくると、20~30cmの水深の浅いところでも立っていることが困難になります。

気象庁では、津波の高さが50cmを超えると予測される場合には、津波注意報を発表することになっています。津波の高さが1m程度を超えると予測される場合には津波警報（津波）が、さらに3m程度を超えると予測される場合には津波警報（大津波）が発表されます。

津波発生と伝播のしくみ

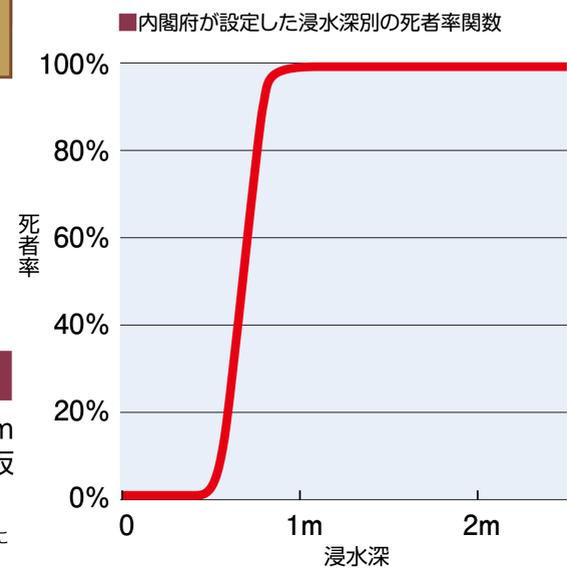


出典：気象庁ホームページ



防波堤を越えた津波の状況・岩手県宮古市（旧老町）

田老町漁業協同組合提供資料より



津波に巻き込まれた場合の死者率

浸水深 30cm 以上で死者が発生し始め、浸水深 1m では津波に巻き込まれた人のすべてが死亡すると仮定した関数。

出典：平成 24 年 8 月 29 日中央防災会議「南海トラフ巨大地震の被害想定について（第一次報告）」から部分抽出